



平成29年2月14日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
コード番号 4004 東証第1部
代表者 取締役社長 森川宏平
問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
TEL (03) 5470 - 3323

平成28年12月期通期業績予想の修正および 減損損失(特別損失)の計上に関するお知らせ

当社は、平成28年2月13日に発表しました子会社昭光通商(以下、昭光通商)の決算発表の延期に伴い、平成28年12月期の連結決算発表を延期いたします。決算発表まで時間を要しますので、現時点における平成28年通期連結業績予想を発表させていただきます。また、減損損失(特別損失)を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成28年12月期通期連結業績予想

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年12月13日発表)	百万円 670,000	百万円 36,000	百万円 30,000	百万円 12,000	円 銭 84.1
今回修正予想(B)	671,200	41,800	38,600	11,000	77.1
増減額(B)－(A)	1,200	5,800	8,600	△1,000	
増減率(%)	0.2%	16.1%	28.7%	△8.3%	
ご参考 前期 (平成27年12月期)	780,958	33,672	32,225	969	6.78

平成28年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。これにより前期、当期ともに株式併合後の株式数を基に算出しております。

(2) 業績予想修正の理由

営業利益は、対ドル為替レートが期末に向け円安方向に大きく振れたことに加え、石油化学セグメントではアジア市場の堅調な需給を受けエチレン等のスプレッドが前回予想を上回り、エレクトロニクスセグメントはHDメディアの出荷が増加し、それぞれ前回予想を上回る見込みです。

経常利益は営業利益の増益を受けるとともに、為替レートが円安に振れたため為替差損が減少し前回予想を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益は前回予想を上回るものの、後述の減損損失(特別損失)の計上により前回予想を下回る見込みです。

尚、配当につきましては1株当たり30円の予想に変更はありません。

(3) 平成 28 年 12 月期通期業績予想 セグメント別売上高、営業利益 (連結)

売上高

(単位：億円)

セグメント	平成 28 年通期業績予想 (連結)			前期実績 (H27. 1～ H27. 12)
	前回予想 (H28. 1～H28. 12) H28. 12. 13 発表	今回予想 (H28. 1～H28. 12) H29. 2. 14 発表	増 減	
石油化学	1, 850	1, 858	8	2, 313
化学品	1, 330	1, 345	15	1, 423
エレクトロニクス	1, 000	1, 033	33	1, 315
無機	500	509	9	635
アルミニウム	980	986	6	1, 008
その他	1, 500	1, 424	△76	1, 525
調整額	△460	△443	17	△408
計	6, 700	6, 712	12	7, 810

営業利益

(単位：億円)

石油化学	180	207	27	105
化学品	130	138	8	107
エレクトロニクス	130	139	9	175
無機	△60	△58	2	△12
アルミニウム	40	44	4	26
その他	20	15	△5	15
調整額	△80	△68	12	△79
計	360	418	58	337

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

2. 減損損失（特別損失）の計上

当社が埼玉県秩父市で行っております電子機能材事業、栃木県小山市で行っておりますアルミ機能部材事業について、事業の収益性が低下しているため、今後の業績見通し等を勘案し事業価値の再評価を行った結果、減損処理を行います。その他、連結子会社等においても収益性が低下した資産、遊休化した資産等について減損処理を行い、第4四半期に減損損失合計約152億円を特別損失に計上いたします。

(1) 電子機能材事業の減損損失

当社が埼玉県秩父市で行っております電子機能材事業について、事業の収益性が低下しているため、今後の業績見通し等を勘案し事業価値の再評価を行った結果、当該固定資産について帳簿価額を回収可能額まで減損処理を行い、45億円を特別損失に計上いたします。

(2) アルミ機能部材事業の減損損失

当社が栃木県小山市で行っておりますアルミ機能部材事業について、事業の収益性が低下しているため、今後の業績見通し等を勘案し事業価値の再評価を行った結果、当該固定資産について帳簿価額を回収可能額まで減損処理を行い、80億円を特別損失に計上いたします。

以上

(ご参考) 平成29年12月期通期業績予想

平成29年12月期の当社グループ通期連結業績予想について下表といたします。

(1) 概要

(単位：億円)

	平成28年通期 業績予想 (H28.1~H28.12) H29.2.14発表	平成29年通期 業績予想 (H29.1~H29.12) H29.2.14発表	増減	増減率(%)
売上高	6,712	7,200	488	7.3%
営業利益	418	420	2	0.5%
経常利益	386	365	△21	△5.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	110	200	90	81.8%

上記の前提といたしまして、次期の為替レートは105円/ドル、ナフサ価格は36,900円/KLを想定しております。

また、平成29年12月期の配当につきましては1株当たり30円を予定しております。

(2) セグメント別売上高・営業利益

売上高

(単位：億円)

	平成 28 年通期 業績予想	平成 29 年通期 業績予想	増 減
石油化学	1,858	2,180	322
化学品	1,345	1,420	75
エレクトロニクス	1,033	1,170	137
無機	509	550	41
アルミニウム	986	980	△6
その他	1,424	1,390	△34
調整額	△443	△490	△47
合 計	6,712	7,200	488

営業利益

(単位：億円)

	平成 28 年通期 業績予想	平成 29 年通期 業績予想	増 減
石油化学	207	160	△47
化学品	138	140	2
エレクトロニクス	139	160	21
無機	△58	△20	38
アルミニウム	44	50	6
その他	15	5	△10
調整額	△68	△75	△7
合計	418	420	2

上記の見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の見通しには、平成 28 年 10 月に発表した SGL GE 社との事業統合の影響は、統合の期日が発表日現在未定のため含めておりません。

また、リチウムイオン電池材料事業について、平成 29 年 1 月より「その他」から「エレクトロニクス」にセグメント変更を行っております。上記の平成 29 年通期業績予想とのセグメント別対比表においては、平成 28 年通期業績予想について、セグメント変更後の数値でお示しております。

平成28年12月期 連結通期業績予想要約 (ご参考)

1. 平成28年12月期業績予想

① 業績予想概要

(単位:億円)

項目	平成27年 通期 (1月~12月)	平成28年 通期予想 (1月~12月)	増減予想
売上高	7,810	6,712	△1,098
営業利益	337	418	82
経常利益	322	386	64
親会社株主に帰属する当期純利益	10	110	101
1株当たり当期純利益	6.78円	77.12円	70.34円
1株当たり期末配当金	3.00円	30.00円	—

※ 平成28年12月期通期、及び平成28年12月期第4四半期の業績予想は平成29年2月14日公表値です。

(注)平成28年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。前期、当期の1株当たり当期純利益については併合後の株式数を基に算出しております。1株当たり期末配当金については、前期は併合前、当期は併合後の株式数を基に算出しております。

② セグメント別 売上高・営業利益予想

(単位:億円)

部門	平成27年 通期 (1月~12月)	平成28年 通期予想 (1月~12月)	増減予想	
売上高	石油化学	2,313	1,858	△ 455
	化学品	1,423	1,345	△ 78
	エレクトロニクス	1,315	1,033	△ 282
	無機	635	509	△ 126
	アルミニウム	1,008	986	△ 22
	その他	1,525	1,424	△ 101
	調整額	△ 408	△ 443	△ 35
計	7,810	6,712	△ 1,098	

部門	平成27年 通期 (1月~12月)	平成28年 通期予想 (1月~12月)	増減予想	
営業利益	石油化学	105	207	101
	化学品	107	138	31
	エレクトロニクス	175	139	△ 36
	無機	△ 12	△ 58	△ 45
	アルミニウム	26	44	19
	その他	15	15	1
	調整額	△ 79	△ 68	11
計	337	418	82	

③ 平成28年 セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移

(単位:億円)

部門	第1四半期 (1月~3月)	第2四半期 (4月~6月)	第3四半期 (7月~9月)	第4四半期予想 (10月~12月)	
売上高	石油化学	429	431	441	556
	化学品	321	328	339	357
	エレクトロニクス	223	247	272	292
	無機	124	125	126	134
	アルミニウム	220	258	247	261
	その他	362	367	347	348
	調整額	△ 105	△ 114	△ 99	△ 126
計	1,574	1,641	1,673	1,823	

営業利益	石油化学	15	59	60	73
	化学品	25	29	43	41
	エレクトロニクス	17	24	43	56
	無機	△ 20	△ 24	△ 7	△ 7
	アルミニウム	2	12	13	16
	その他	5	5	4	2
	調整額	△ 17	△ 18	△ 17	△ 16
計	29	87	139	164	

注. 第4四半期の売上高、営業利益は、通期から第3四半期累計期間を差し引いて表示しております。

2. 平成29年12月期の予想

① 業績予想概要

(単位:億円)

項目	平成28年 通期予想	平成29年 通期予想	増減予想
売上高	6,712	7,200	488
営業利益	418	420	2
経常利益	386	365	△21
親会社株主に帰属する当期純利益	110	200	90
1株当たり当期純利益	77.12円	140.33円	63.21円
1株当たり期末配当金	30.00円	30.00円	—

※ 平成28年12月期通期、及び平成29年12月期通期の業績予想は平成29年2月14日公表値です。

② セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

部門	平成28年 通期予想	平成29年 通期予想	増減予想	
売上高	石油化学	1,858	2,180	322
	化学品	1,345	1,420	75
	エレクトロニクス	1,033	1,170	137
	無機	509	550	41
	アルミニウム	986	980	△6
	その他	1,424	1,390	△34
	調整額	△443	△490	△47
計	6,712	7,200	488	

部門	平成28年 通期予想	平成29年 通期予想	増減予想	
営業利益	石油化学	207	160	△47
	化学品	138	140	2
	エレクトロニクス	139	160	21
	無機	△58	△20	38
	アルミニウム	44	50	6
	その他	15	5	△10
	調整額	△68	△75	△7
計	418	420	2	

3. 参考数値

(単位:億円)

項目	平成27年 通期	平成28年 通期予想	増減予想	平成29年 通期予想	増減予想
設備投資額	441	393	△48	519	126
減価償却費	421	388	△34	387	△1
研究開発費	203	173	△30	185	12
期末従業員数(人)	10,561	10,146	△415	10,327	181
為替レート(円 / US\$)	121.1	108.8	△12.2	105.0	△3.8
国産ナフサ価格(円 / KL)	46,000	32,800	△13,200	36,900	4,100
有利子負債残高	3,688	3,599	△89	3,550	△49

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。上記の見直しには、平成28年10月に発表したSGL GE社との事業統合の影響は、統合の期日が発表日現在未定のため含めておりません。